2021 年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年　4 月　１１日
● 事　業　名　：　依存的窃盗症者の再社会化支援事業
● 資金分配団体　：　更生保護法人日本更生保護協会
● 実　行　団　体　：　特定非営利活動法人両全トウネサーレ
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

① 実績値

【資金支援】アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1 人でも多くの依存的窃盗症者が、リ・コネクト（窃盗依存症者回復支援プログラム）を受けられる状態になる。	'①再社会化プログラムの活用について説明に赴いた団体数 ②説明実施延べ回数 ③リ・コネクト広報用チラシの配布枚数	①協働団体 30 施設以上 ②60 回以上	2023 年 1 月	広報説明した団体数 26 か所　28 回 パンフ配布箇所 30 か所 600 部	
（1）被支援者の抽出（実情調査を含む。）	再社会プログラムの受講希望者の数	年間 20 人	2023 年 3 月	15 人 75%	3
（2）精神保健福祉センターや精神科医院等への再社会プログラムの説明と活用依頼を行う。	再社会化プログラムの活用について協働化できる団体の数 説明等実施した数	3 団体 20 施設	2023 年 3 月	3 団体 100% ２3 施設へ説明実施 100%	2 2

(3)　地域包括センターや福祉センター相談事業者への再社会プログラムの説明と利用者希望者の紹介依頼を実施する。	リ・コネクトを受講する被支援者の数	10 人	2023 年 3 月	0 人 0%	3
(4)　再社会化プログラムの広報法活動として、窃盗症理解や再社会化プログラムに関するシンポジュームを実施する。	実施数	1 回	2022 年 3 月	0 回　0% （関係団体施設等を集め質疑応答会を 1 回実施した）	3
(5)　上記施設（1-2、1-3、1-4、1 －5）等から紹介を得た被支援者に対し、再社会化プログラムを定期的に実施し、認知行動療法による寄り添いケア行う。	リ・コネクトを受講する被支援者の数	10 人	2023 年 3 月	3 人 30%	3
(6)　再社会化プログラム利用団体が、再社会化プログラムを実施する場合に、ファシリテイターの派遣や職員へのレクチャー等、協力・支援を行う。	実施数	20 回	2023 年 3 月	本年 22 回 100%	2
2　「依存症的窃盗症者がリ・コネクト（窃盗依存症者回復支援プログラム）を受講して、依存症についての知識を得られている。	リ・コネクトのワークブックが完成する（印刷される）	ワークブック（冊子）が完成する	2023 年 1 月	2022 年 2 月に原稿を入稿した。8 月には完了するとの報告あり、現在校正作業実施中	
(1) 依存的窃盗症者再社会化プログラムの作成	進捗状況	完成	2023 年 3 月	完成 100%	2

(2) 試行モデルは女性向けであったが、男性にも使えるようにするとともに、実施回数も全 17 回(月 1～2 回程度の実施で 1 年間)に改修し、他の施設やデイケア事業所等でも活用できるようなワークブックとする。2021 年度終わり頃改訂作業を終了し、プログラムを印刷し、実践的に活用する。	進捗状況	完成	2022 年 3 月	完成 100%	2
3　リ・コネクトの受講が終了した人が、プログラムのメンテナンスのために、電話相談支援を受けられる。	①リ・コネクト受講生のうち、終了後(自立後)の電話相談について、情報提供された人の割合。 ②電話相談支援を受けた人の人数 ③②のうち、リ・コネクト終了者数	① 受 講 者 の 100% ②実人員 50 人（又は延べ人数 150 人） ③実人員 20 人	2023 年 1 月	受講後の電話等相談の説明実施数　22 人　73.3% 中途未了者 14 人には実施できず。相談実施数　6 人	
(1) 電話等相談支援体制の整備と広報活動	電話等相談について、情報提供された人の割合	受講者の 100%	2023 年 3 月	15 人 90%	2
(2) 電話等による被支援者へのカウンセリングの実施	電話等相談支援を受けた人の人数	30 人	2023 年 3 月	15 人 50%	2
(3) 精神保健福祉センター、地域相談事業所と連携した運用を行う。	電話等相談支援を受けた人の人数	20 人	2023 年 3 月	0 人 0%	3

4「自助グループ活動に加わることができ、居場所を得てサポートグループと繋がった状態になる。	①活動場所の数 ②自助グループ活動参加人員 ③②のうち、リ・コネクト終了者数	①4 カ所（Zoom での自助グループ含む） ②30 人～50 人 ③25 人	2023 年 1 月	活動場所　3 施設 参加者　18 人 修了者　13 人	3
(1) グループワーク場所の提供と体制整備	実施場所の数	4 か所	2023 年 3 月	3 か所 75%	2
(2) 高齢窃盗症者も支援の対象とするため、地域包括センターや福祉センター相談事業者に、自助グループについて説明し、該当する人に参加を促してもらえるよう、紹介依頼を実施する。	参加者の数	20 人	2023 年 3 月	3 人 15%	3
(3) グループワーク場所の拡大	実施場所の数	4 か所	2023 年 3 月	3 か所　75%	2
(4) 被支援者と地域が繋がるネットワーク創出	協働関係の設定	1 施設	2023 年 3 月	1 施設 100%	2
(5) 被支援者の家族生活や就労生活での自立	参加者のうち、「ここに居場所がある」「安心感が感じられている」を感じている人の割合	被支援者の 90%	2023 年 3 月	5 人 10%	3

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし ☑短期アウトカムの内容 ☑短期アウトカムの表現 ☑短期アウトカムの指標 ☑アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
依然として、新型コロナウイルスの影響を受け、AA などの自助グループとの連携が困難である。また、クリニックでの予定していたデイケアにおけるデモンストレーションも延期の状態となっている。蔓延防止措置期間終了後にデイケアセンター担当者等デモンストレーションを実施する方向で調整している。また、電話等で継続的に繋がっていた人のうち就労困難等で居場所が不明になり、繋がらない状態の被支援者出ているので、現在支援中の利用者には、ホームページお問い合わせの活用を積極的に利用するように促している。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
ZOOM や LINE 動画電話を利用して対応している。

③　広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ホームページに登載 2.広報制作物等 広報用パンフレットを配布 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④　規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☐全て公開した　☑一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日： 理事会承認を得て、202 2 年度 7 月中にすべて公開する予定である。

3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： 変更はない。

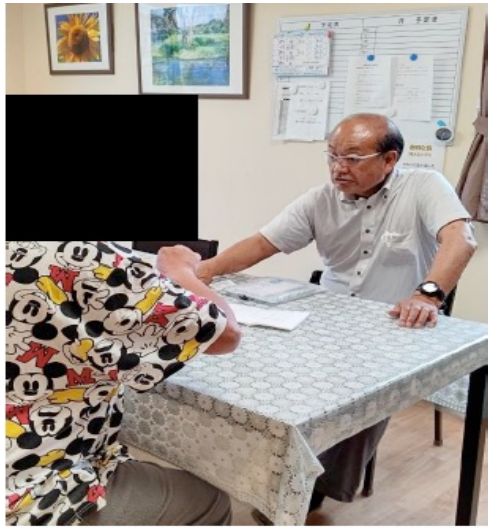
⑤　ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　☐外部に窓口を設置　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

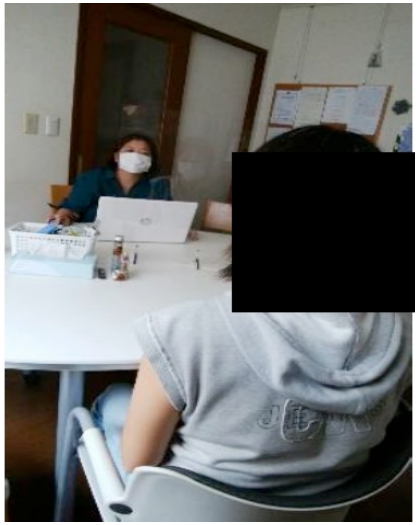
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）



個別支援場面（継続被支援者）



女性の個別リ・コネクトプログラム実施場面

集団プログラム実施場面

電話等相談場面